

翌 檜 新聞



志 寛 錬

第9号
2021.11.30
第75代
伊敷中生徒会



みんなで創る生徒会

第76代生徒会立会演説会行われる

10月9日(土)、第76代生徒会立会演説会がありました。今回の生徒会役員選挙には、二年生7名、一年



生徒会立会演説会に臨む立候補者(上)あいさつをする会長(左下)説明をする選挙管理副委員長(右下)

生8名が立候補しました。昨年と同様にオンラインで行われ、候補者たちは自分の番になると、カメラに向

選挙管理委員の仕事を終えて

第76代生徒会立会演説会が無事に終わりましたが、この演説会の運営や準備をしていたのは、各クラスの選挙管理委員のみなさんです。なかなか全体の場に出てくることはなかったのですが、どのような活動をしていた

か、みなさんは分らないかもしれませんが、たかもしれません。投票用紙の準備や当日の運営などをしていました。今年度の選挙管理委員長を務めた三年三組の田上流雲さんは「立候補者が演説しやすいうように準備することを

心掛けてきた。はじめは大変そうだったが、みんなで協力して活動することができてよかった」と述べていました。

それぞれの行事には陰で支えてくれている人がいます。そういう人たちの存在に気づき、感謝できる集団でありたいと思います。

(武 大叶)

二学期が始まり、約一か月間、リモート授業、分散登校が行われました。リモート授業では「いつも以上に

分散登校で見えたもの

目撃者のまなざしから

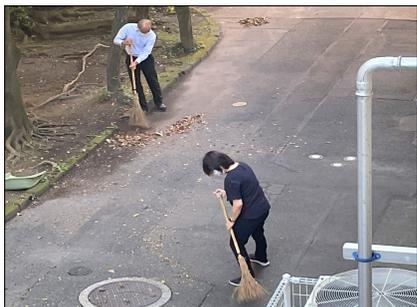
(峯 吉泰志)

かつて自分の思いを熱く語っていましたが、新型コロナウイルスで、演説会の開催が一月延期となり、先の見えない中でしたが、どの候補者も丁寧に準備し、本番を迎えていました。

また、各教室では演説の様子を真剣に聞く姿が見られました。それは、この演説の後の選挙がこれからの伊敷中学校を決める大切なことであるという自覚があったからこそ見られた姿であったと思います。

伝統の朝作業を守る!

二学期が始まって一か月。分散登校のため、通常の活動ができませんでした。昼作業はもちろん、朝作業もできない期間が続きました。伊敷中の三大伝統の一つである朝作業。私たちが朝作業をすることができなかつた期間、朝、先生方が朝作業をしてくださっていたことをみなさんは知っていますか。先生方の思いをみなさんにも届けたいと思います。東村先生にその思いをうかがいました。



Q1 どのような思いで朝作業をしていましたか。
A1 相手(生徒や他の先生)をおもてなしの心で思いやりうと思いいながら、作業をしています。

Q2 作業をしている中で、気付いた課題などありませんか。
A2 課題は気付き作業があまりできていないところだと思います。特に外掃除だと落ち葉を掃く作業が中心になってしまっていて、他にもするべき作業があることに気付いていないかもしれないと感じました。

通常の活動に戻った今、自分たちの活動を改めて振り返り、その目的を考えながら活動することができればと思います。(末永運)

今、本格的に生徒会活動も学校行事も動き始めています。今まで当たり前のように過ごしてきた日常。でもそれは当たり前ではないというところに気付いたからこそ、新型コロナウイルス対策もしっかり行いながら、一日一日を大切に過ごしていきたいでしょう。

(田代紅愛)

生徒会の窓

水曜日の朝、生徒会役員数名がトンネルとバケツを持ち、学校周辺のゴミを拾う姿を登校中に見ることがある人もいます。水曜日には「水曜日は幸せ拾いの日」として書記の皆倉甫洗さんを中心として活動してきたものです。私たちはSDGsの活動の一つとして始めましたが、ゴミを拾うことは「運を拾う」とも言われています。現在メジャーリーグで大活躍の大谷翔平選手も高校時代の恩師から「ゴミは人が落とした運。ゴミを拾うことで運を拾う」と教えられ、実践したそうです。もちろんゴミ拾いだけではなく、様々な努力の上で今の活躍があるとは思いますが、大谷選手に自分で自分の運気をあげるといふプラスの考え方があったことは確かです。

「ゴミを拾う」それは誰にでもできることですが、意外と実践できていないことです。伊敷中の校内も見渡してみるとゴミが落ちています。ゴミを見て素通りするのではなく、運を拾うと思って行動する。そういうプラスの考えが広がってほしいなと思います。(町田歩未)

校外でも多くの学びを

修学旅行

10月18日(月)から19日(火)の2日間、二年生の



大イベントでもある修学旅行が行われました。コロナ禍ということもあり、県内で一泊二日と例年より規模は収縮されつつも、「平和」をテーマに県内のあまり行つたことのない場所を訪れました。

折り鶴を捧げ、平和を祈る二年生

鹿屋平和資料館を見学した二年一組総務の中原健介さんは「資料館にあった桜花のモデルが凄かったです。とてもリアル



体験学習を楽しむ二年生

で心に残りました。亡くなった人たちの遺影や、最後に遺した手紙も心に来るものがありました。」と話していました。

また、平和学習の他にも修学旅行中、印象に残ったこととしてミニコンサートをあげる人もいました。学級の総務は代表してヴァイオリンに触れる機会がありました。県内でしたが、学ぶ量が

多く、とても充実した修学旅行となりました。

修学旅行実行委員長の二年四組大竹野華凜さんは、「実行委員としてみんなの前で話をする時、表情に気を付けたり、話をする内容を覚えたりと大変なことが多かったです。実行委員の皆さんと協力してしおり作りも頑張りました。思い出に残る修学旅行になってよかったです。」と話していました。

今回学んだことを普段の学校生活に生かしていきたいですね。

体験学習

10月21日(木)、22日(金)の二日間、一年生の体験学習が実施されました。青少年研修センターに行っ



室内運動会で盛り上がる一年生

には大好評でした。卓球ボールをうちわであおいで速さを競うレースや、ラグビーボールを玉にしたボウリングなど、チーム対抗でポイントを競いました。チームで協力しながら活動することはとても楽しく、大いに盛り上がりました。その後はぬりばし作りをしました。

みんなが一時間夢中ではしと向き合い、製作しました。普段は見られない、それぞれの個性がはしに出て、貴重な時間となりました。

二日目は、感染対策のため、先発隊の後半クラスと後発隊の前半クラスに分か



ぬりばし作りに熱中する一年生

本来なら9月の全校朝会で生徒総会で出た質問の回答を行う予定でしたが、全校朝会が出来なかったため、今回は紙面で回答したいと思います。

生活部に対する質問

Q カイロをポケットから出すのが禁止だと、十分に利用することができない。
A カイロを一時的に出して使用するのはいけません。ですが、歩きながらカイロを使用したり、常に出したまま使用したり、ポケットに手を入れて歩いたりするのはやめて下さい。また、貼るカイロも活用してください。



五月に行われた生徒総会の様子

美化部に対する質問

Q ゴミの分別を行

生徒総会質問回答

たいが教室にゴミ箱が一つしかない。
A ゴミの分別は資源ごみとそれ以外に分けてください。資源ごみは各クラスの資源ごみボックスに回収する、となつていきますので、各クラスで確認してください。

図書部に対する質問

Q 集団読書の期間は私物の本を許可しているのではないか。
A 現在、図書部で検討中です。

体育部に対する質問

Q 食べ終わってない人

への対応で給食当番が20分以内に外に出ることが難しいので、一度検討してほしい。

A 20分以内に外に出るのは、これまで続けてきたことです。また、給食を食べる時間を確保するために給食の準備の時間も意識することが大事です。どんな工夫ができるかを考えてみてください。保健班と協力しながら、給食時間の充実を全員で意識していきましょう。

保健部に対する質問

Q 8分以内着席が守れていない人が多いので、具

体策を立てるべきではないか。
A ポスターを作ったり、呼び掛けを強化をしたりしたいと思います。また呼び掛けられる前に一人一人も意識するようにしてほしいです。

学習部に対する質問

Q 置き勉をしていい物としてはいけない物の違いは何ですか。
A 置き勉をしてはいけない物は「学習に必要」と先生方が判断された物です。毎日持ち帰り、活用しましょう。また、置き勉できる物は「学校に置

いてよい学用品」というプリントに書かれています。以前一人一人に配布されていますが、学級でも掲示されていると思います。確認して、間違いないようにしましょう。

その他にも日常生活の中で考えたことや疑問があるかと思えます。その場合は、生徒会室前の目安箱に質問等を入れてください。よりよい学校生活のために必要なことを考え、前向きで建設的な意見をお願いします。(皆倉甫洸)

編集後記

今回の翌檜新聞は第75代最後の号となりました。二学期は分散登校となり、翌檜新聞の編集がなかなかできなかった時期もありましたが、南日本新聞社主催の学校新聞コンクールでは二席を獲得することができました。インタビュに協力してくださいましたみなさん、ありがとうございました。第76代の翌檜新聞も魅力いっぱいの記事を追求していくので、ご愛読よろしくお願ひします。(武 大叶)